

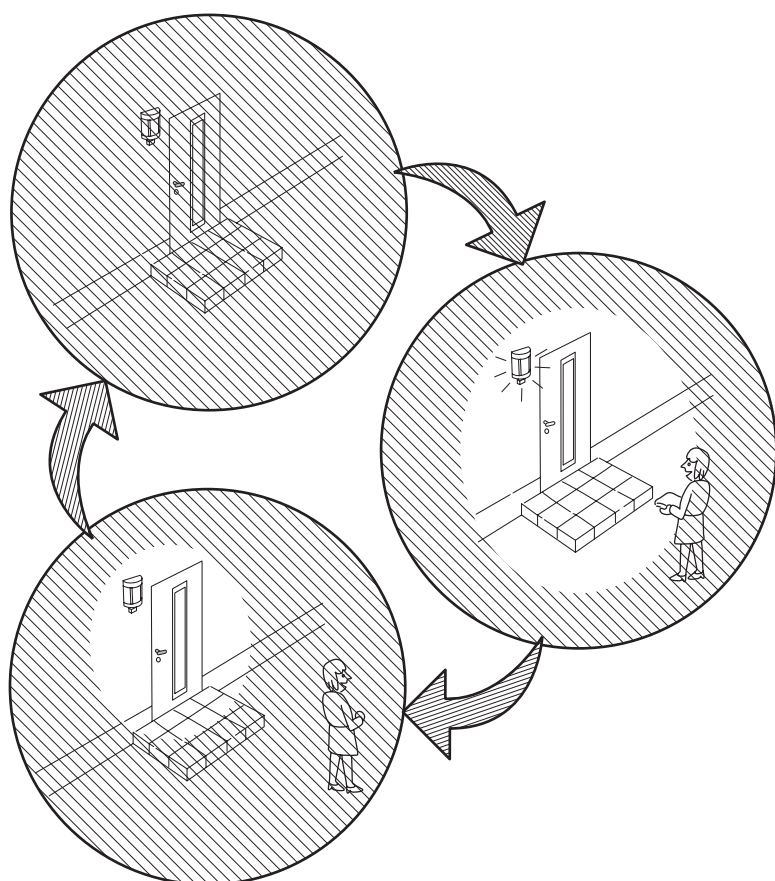
お客様へ

- ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 照明器具の取付工事は必ず工事店・電気店(有資格者)に依頼してください。

工事店様へ

- 施工の前にこの説明書をよく読み、お客様と打合せのうえ、お客様のご使用に合わせたセンサーの設定にしてください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

人感センサー付照明器具の特徴



人感センサー

人を感知してランプが自動点灯

- 人がいなくなると約1分後に消灯します。
- センサーの感知エリアは状況に合わせて調整できます。

強制ON

いつでもランプを点灯できる

- 人感センサーを解除していつでもランプを点灯させることができます。
- 家の中から玄関先の様子を見るときなどに便利です。

ソフトスタート

ランプはゆっくり明るくなる

- 約2秒で100%点灯状態になります。
- 徐々に明るくなるので、まぶしさに目がくらむことはありません。

フェードアウト

ランプはゆっくり暗くなる

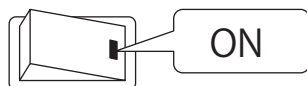
- 約2秒でゆっくり暗くなります。
- 人の動きがないときでも突然消えないので安心です。(少し動けばまた明るくなります)

もくじ

- センサー各部の名称 2
- 人感センサーの働きを決める 2
- 壁スイッチを「ON」にする 2
- [1] 人感センサーの感知エリアを調整する 3
- [2] 人感センサーの感知エリアを確認する (テストモード) 4
- [3] ランプを自動的に点灯/消灯させる周囲の明るさを決める (点灯照度設定) 4
- [4] 暗くなったときの照らしかたを決める (動作設定) 5
- ランプを今すぐ点灯させたいとき (「強制ON」モード) 6
- 修理を依頼される前に 7

この説明書は必ずお客様にお渡しください

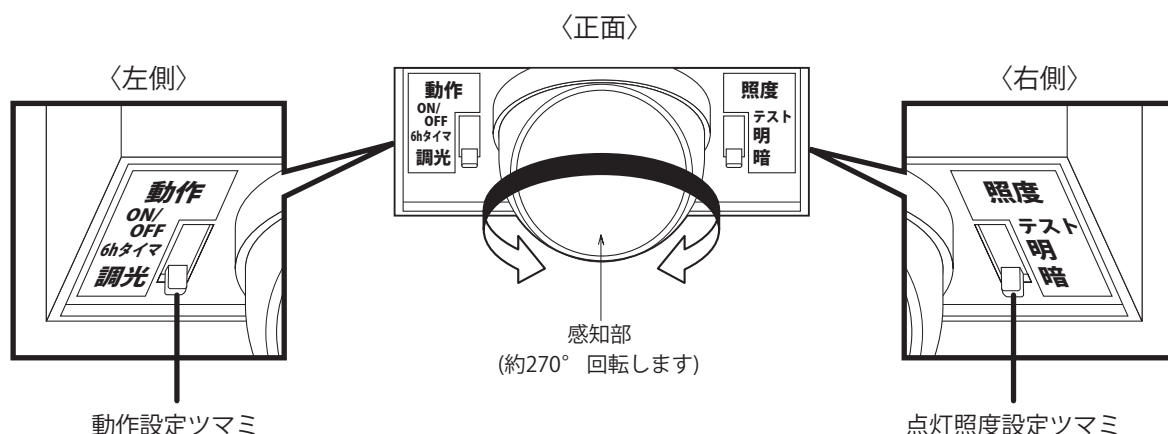
ご使用のときは



壁スイッチ(=電源)は「ON」状態でご使用ください。

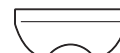
●「OFF」状態では人感センサーは働きません。

センサー各部の名称

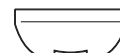


<付属品>

エリアマスクA

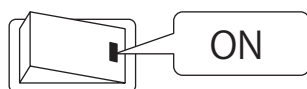


エリアマスクB



人感センサーの働きを決める

1 壁スイッチを「ON」にする



約30秒間
ランプが点灯 → 下記①②③④の設定に従って
人感センサーが働きます。

※壁スイッチは「ON」の状態でご使用ください。
※この取扱説明書では、壁スイッチ「ON」の状態の説明しています。

① 人感センサーの感知エリアを調整する…………… P.3



② 人感センサーの感知エリアを確認する……………(テストモード) P.4



③ ランプを自動的に点灯/消灯させる周囲の明るさを決める……………(点灯照度設定) P.4



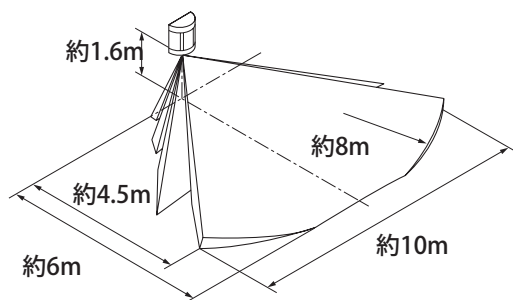
④ 暗くなったときの照らしかたを決める……………(動作設定) P.5

1 人感センサーの感知エリアを調整する

- センサーの感知部を動かすことで、感知エリアを調整することができます。
- 下図の説明を参考に調整し、次のページの「テストモード」で感知エリアを確認してください。
- 感知エリアを調整しても、頻繁にセンサーが反応してしまうときは、エアーマスクをご利用ください。
(下記「エアーマスクの利用」参照)

人感センサーの感知エリア

正面エリア図



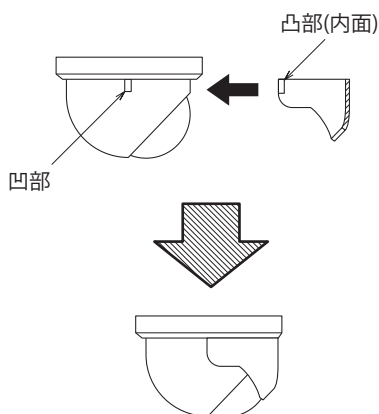
頻繁にセンサーが反応してしまうとき

エアーマスクの利用

- 感知エリアの近くに人や車が通る道があると、必要のないときまでランプが点灯する場合があります。
- ➡ そのときはセンサーの感知部に「エアーマスク」を取付け、感知エリアを調整してください。

エアーマスクの取付方法

エアーマスクの凸部を、感知部側面の凹部にはめ込む



センサーの感知エリア

感知部を正面にし、「エアーマスクA」を取付けた時



感知部を正面にし、「エアーマスクB」を取付けた時



2 人感センサーの感知エリアを確認する テストモード

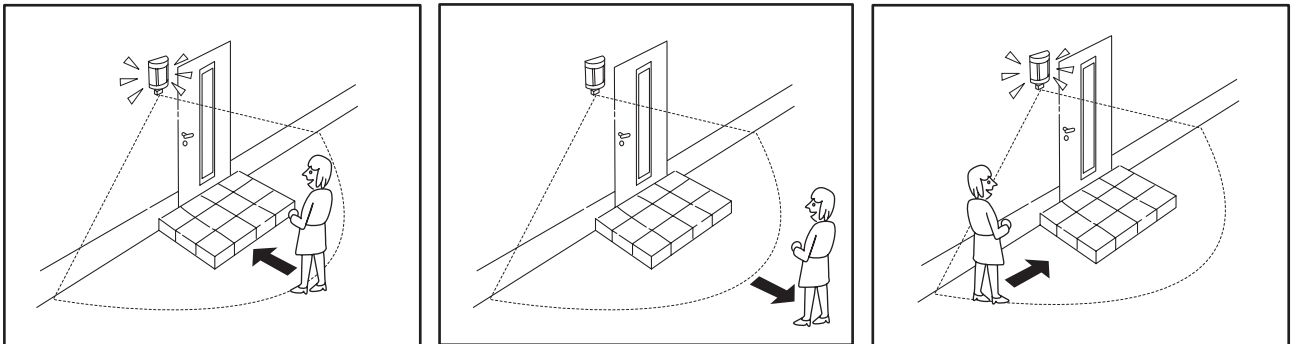
テストモードにすると、昼間・夜間に関係なく感知エリアに入るとランプが約5秒間点灯し、その後消灯します。

1. センサー右側の点灯照度設定ツマミを「テスト」に合わせる。



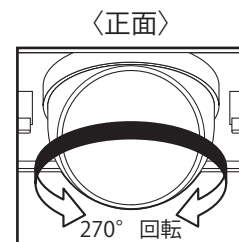
2. 感知エリアに入ったり、出たりしながらランプの点灯／消灯を確認する。

●感知エリアに関して P.3参照



3. 必要に応じて感知部を動かして感知エリアを調整する。

●手順②と③を繰り返して調整してください。



4. 点灯照度設定ツマミを「暗」または「明」に設定する。 下記参照

3 ランプを自動的に点灯／消灯させる周囲の明るさを決める 点灯照度設定

周囲の明るさによってランプを自動的に点灯させたり消灯させたりする条件を設定できます。

●周囲が少し明るくても点灯させたいときは「明」に、暗くなってから点灯させたいときは「暗」に設定します。

1. センサー右側の点灯照度設定ツマミを「暗」または「明」に合わせる。

設 定		周囲の明るさ	ランプ
	暗 のとき	夜、暗くなったら(約15ルクス以下)	点灯
		早朝、少し明るくなったら	消灯
	明 のとき	夕方少し暗くなったら(約45ルクス以下)	点灯
		朝、明るくなったら	消灯

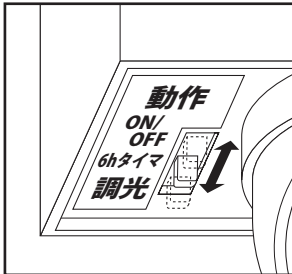
4

暗くなったときの照らし方を決める

動作設定

照らし方は3つのモード 「調光」「6hタイマ」「ON/OFF」の中から1つ選ぶことができます。

- 【ほのかな明かりで照らす】+【人が来たら明るく照らす】→「調光」モードに設定
- 【ほのかな明かりで照らす(真夜中は消灯)】+【人が来たら明るく照らす】→「6hタイマ」モードに設定
- 【消灯】+【人が来たら明るく照らす】→「ON/OFF」モードに設定



センサー左側の動作設定ツマミで
お好みのモードを選ぶ

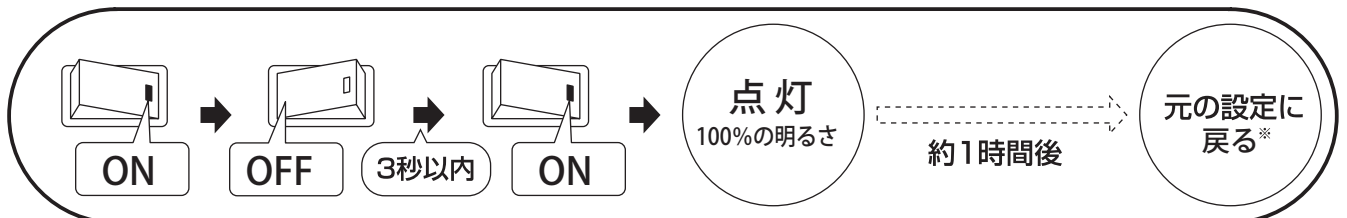
条件 動作設定	昼(明るいとき)	夜(暗いとき)		
	人がいるとき/いないとき	人がいないとき	人が来たとき	人がいなくなったとき
調光 モード (夜間は消灯なし) で安心	 消灯	 ほんのり点灯状態	 100%点灯状態	 約1分でほんのり点灯状態に戻る
6hタイマ モード (真夜中は消灯) させて節電	 消灯	 ほんのり点灯状態	 100%点灯状態	 約1分でほんのり点灯状態に戻る
ほんのり点灯をはじめてから 約6時間経過後(真夜中)				
		 約1分で消灯	 100%点灯状態	 消灯
ON/OFF モード (必要なとき) だけ点灯	 消灯	 消灯	 100%点灯状態	 約1分で消灯

ランプを今すぐ点灯させたいとき 「強制ON」モード

人の有無や周囲の明るさに関係なく、ランプを強制的に点灯させることができます。

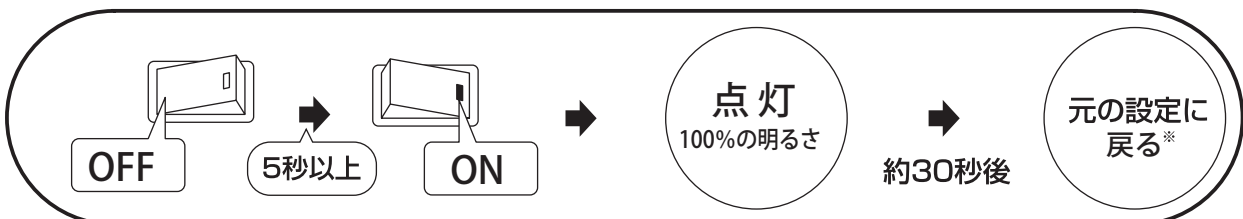
ランプを強制的に点灯させるとき（「強制ON」モードで使用するとき）

1. 壁スイッチを「ON」にする。（すでに「ON」の場合はそのまま）
2. 壁スイッチを「OFF」にし、3秒以内に「ON」にする。



元の設定に戻すとき（使用していた設定状態にすぐに戻したいとき）

1. 壁スイッチを「OFF」にしてから5秒以上待つ。
2. 壁スイッチを「ON」にする。




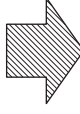
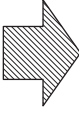











※ 元の設定に戻ったとき、設定内容や周囲の明るさなどにより、ランプの点灯状態が異なります。（設定内容により異なる）

修理を依頼される前に

●センサーの働きがおかしいときは下記を参考に点検を行ってください。

●処置をした後でも異常があるときは必ず壁スイッチを「OFF」にし、お買い上げの販売店、工事店、弊社までご連絡ください。

現 象		考えられる原因		処置方法
ランプが 消灯しない		壁スイッチを「OFF」にして約3秒以内に「ON」にした。		「強制ON」モードになっています。 壁スイッチを「OFF」にして5秒以上経過後「ON」にしてください。 (P.6参照)
		明 け 方 センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「明」になっている。		朝、明るくなるまでセンサーが働く設定になっています。 「点灯照度設定」のツマミを「暗」にしてください。(P.4参照)
		明 る い と き 照明器具の取付場所が薄暗い。 (昼間でも暗いときがある)		「6hタイマ」モードでご使用の場合、 昼間でも周囲が薄暗いときは、まれにセンサーが夜と勘違いしてランプをほんのり点灯(約6時間継続)させることがあります。壁スイッチを「OFF」にして5秒以上経過後「ON」にしてください。(P.6参照)
		昼間でも、曇り、雨などで周囲が暗くなった。		
		センサーの感知部を傘、手などで覆ってしまった。		
感知エリアに 人がいるのに 点灯しない		夕 方 センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「暗」になっている。		暗くなりはじめたらセンサーが働く設定になっています。 「点灯照度設定」のツマミを「明」にしてください。(P.4参照)
		暗 い と き 壁スイッチが「OFF」になっている。		壁スイッチを「ON」にする。
		センサーの感知部に他の照明器具の光が当たっている。		1. センサーの感知部に当たる光を遮断してください。 2. 感知エリア内の照明器具を取り除いてください。
		センサー感知部のレンズが汚れている。		センサー感知部のレンズの汚れを柔らかい布で拭き取ってください。

現象		考えられる原因		処置方法
感知エリアに人がいないのに点灯する	→	壁スイッチを「ON」にした直後。 または、停電から復帰直後。	→	壁スイッチを「ON」にしたときは、約30秒間100%点灯状態になります。
	→	暗いとき 感知エリア内に人以外の熱源がある。 ＜例＞ ・自動車の熱やヘッドライト ・近くの道路の通行人 ・犬や猫などの動物 ・風などでよく揺れるもの（洗濯物、旗、植木など） ・他の照明器具 ・エアコンなどの吹出口からの風 ・強いノイズ（無線ノイズなど）	→	1. 感知エリアを調整する。 （P.3参照） 2. 熱源を取り除く。 感知エリア内に左記の例のようなものがあれば、周囲の温度変化を感知し、センサーが働くことがあります。
感知エリアに人がいるのに消灯する	→	センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「テスト」になっている。 （約5秒間点灯後、消灯）	→	「点灯照度設定」のツマミを「明」または「暗」にしてください。 （P.4参照）
	→	暗いとき 感知エリア内で人が静止している。	→	静止している人は感知できません。
感知エリアが狭い	→	暗いとき 雨の日に傘などで顔や手が隠れている。	→	センサーは温度変化を感知するため、左記の場合は感知しにくくなることがあります。
		マフラーで顔を覆ったり手袋をしたりして肌の露出部分が少ない。	→	
		夏の暑い日など周囲温度と人との温度差が少ない。	→	
		器具（センサー）に向かって正面から近づいている。	→	
				センサーの特性上、正面から近づくとき感知しにくくことがあります。 センサーの感知部を少し左または右に向けてください。

クリーニング方法

- 乾いた布で汚れを拭き取ってください。汚れが落ちにくい場合は、よく絞った布で拭き取り、最後に乾いた布で拭き取ってください。
- クリーニング後、動作を確認してください。以前と動作が違った場合、再度、設定してください。



直接、センサーに水をかけないでください。故障の原因となります。

この説明書は必ずお客様にお渡しください

- * 保証書には電気部品の保証期間1年となっておりますが、1日20時間以上の長期間使用されている場合、保証期間は半年となります。
- * 盗難、いたずら等への対処は致しかねますのでご了承ください。
- * 当社は、万全の注意を払い、安全な製品をお届けするための管理を致しておりますが、ご不明な点、お気付きの点がございましたら、お買い求めの工事店、販売店、弊社までご連絡ください。



〒601-8317 京都市南区吉祥院新田貳ノ段町45
TEL 075-681-2891 FAX 075-662-1190
ディーズガーデン 株式会社 傳來工房

DSL-MM6
2025.10A